
喪失

羽栗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

喪失

【Nコード】

N8214B

【作者名】

羽栗

【あらすじ】

“お前のためなら…”そう、思って頑張ってきた自分に待っていた不運は…？

序

今、自分は街のだ真ん中に居ると思う。

ここが何処なのか、そんなことは分らない。分かる筈がない。

そして、目の前には顔立ちの良い、十七、八くらいの女が居る。

自分を見た途端、みるみるうちに、顔をぐしゃぐしゃにして、喚きだした。

さつきから、泣きながら何かを言っているが、その何かは耳に入ってこない。

そのくらい、もう何が何なのか、さっぱりなのだ。

それにこの女、どうにかしてほしい。

なんでも、自分の前で喚きだすものだから、周りの視線が半端無く痛い。

これでは、自分が泣かした様ではないか。

まあ実際、自分を見た途端に泣き出したのだから、そうなのかも知れないが。

とにかく、視線が痛いので、人目の付かないところへ行こうと思った瞬間だった。

「
」

女の口が何かを呟く。

その声は、周りの雑音を遮り、煩い筈の街中に響き渡る。

そして、その何かを聞いた自分は、砕ける様な頭痛に襲われた。

視界が揺らいだかと思えば、そこでブラックアウトしてしまった。

序（後書き）

これがコナンですか？

と思った方。コナンです。

しかも、

私なりに、一応原作沿いです。

まあ、プロローグ的なお話なので、いまいち状況が分からない感じにしてみました。

以上。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8214b/>

喪失

2010年12月14日03時02分発行